

若い 群像

キューンと高速度で回転する大型レーン（ローブ機）で、見る見る太い一本のローブが作られてゆく。

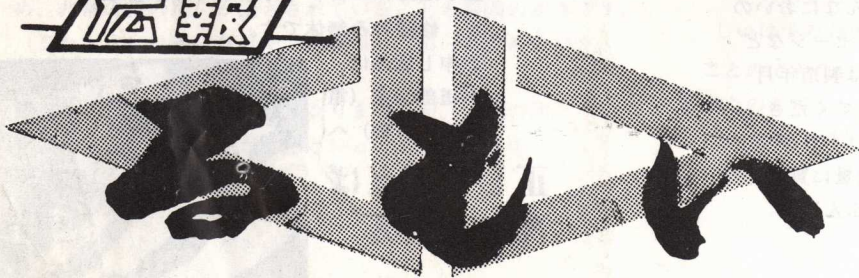
佐藤賢二君の勤務先、稚内漁網留萌工場の中である。

この工場では、主に漁網を製造しており、エビケタや底曳き漁、そして漁船の接岸等に欠くことのできない、いろいろなローブが作られており、その長さは1日平均約4000mにもなるという。

佐藤君はこの8月まで理容師の道を目指して頑張ってきたが、事情があって、この製網会社へ勤務したという。「でもこの工場で、生産する喜びを味わうことができますし、漁業に欠くことのできない一役を担っていると思うと嬉しいですね」という。

佐藤君は、商工学園生としても活躍中である。

広報



'72

12月号

第177号